

特集 郷土府中を 考える 志の教育

問い合わせ先 教育政策課 (☎43-7176)

上下中学校
徳田広美さん



提案内容

少子高齢化が進む府中市の人口減少問題を解決するために、市内の児童・生徒で協力し、府中市のPRポスターを作成する。府中市の祭り、お店、企業などの情報や、地域の人が撮った地域の人だからこそ撮れる写真をSNSで発信する。

上下中学校
宮部ほのかさん



提案内容

インスタ映えスポットなどを利用し、若い世代を府中市に呼び込む。
①府中市内の自然を利用した公園を、年間を通してライトアップする。
②四季の里の周辺にインスタ映えスポットを作り、若い人を呼び込んでスポット巡りをしてもらう。

府中明郷学園
清川創太さん



提案内容

現在、府中市には、外で遊ぶことのできる場所が少ない。子どもが楽しいと思えるイベントや企画を行う必要がある。例えば、年間を通じて府中市の名所を巡るスタンプラリーを行うことです。季節ごとにスタンプを置く場所を変えたり、ラリー完成の景品は、市内の特産品を贈呈すれば、府中市を訪れてくれる人も増える。

府中明郷学園
中畠斗々さん



提案内容

府中市の特産品を使ったオリジナルの料理を給食で提供し、府中市の活性化や地産地消につなげたい。府中市の特産品を使った料理を募集し、市の主催イベントなどでコンテストを行う。

第一中学校
真邊亮佑さん



提案内容

①市内企業のPRブースを巡るマラソン大会を開催。
②府中市の長所である、100年以上の老舗、世界進出している企業、歴史ある場所を市外、県外へ発信し府中市の企業をPRする。

上下中学校
永地俊貴さん



提案内容

①府中市にあるショッピングモールの中に、ドローンの体験ができる場所を設置する。
②スポーツ用品店に隣接したトレーニング施設を建設する。

これらにより、県内外からたくさんの方が訪れSNSで拡散され府中市のPRにつながる。

上下中学校
梶田丈太郎さん



提案内容

木に触れながら子どもを育てる「木育」を利用し、たくさんの人にその取り組みをPRする手段として、木材を主に活用して空き家をリノベーションし、市営住宅として貸し出したり、木育の取り組みをPRするホームページを作成したりする。自然の中で子育てをしたい家族を取り込んで人口減少を食い止める。

上下中学校
瀬尾圭亮さん



提案内容

翁山のツリーを昔のように復活させて、大規模にすることで、上下町の活性化を図る。資金は、この活動に賛同してもらえ人の募金活動などで賄う。その取り組みを市のホームページで紹介する。

高い志と社会貢献への意欲を育み、また、郷土府中の現状と課題を知り、自分自身がまちづくりにどのように関わるのかを具体的に考える「志の教育」。平成30年度は、20人の府中市立学校の生徒が、自分たちで考え抜いた提案を府中市議会議場で説明しました。

地元企業の方から「府中へのこだわり」や「府中を良くしたい」という思いを直接聞いて、自分たちのアイデアを出し合い、まちづくりに貢献するための提言にまで高め、府中市長をはじめとした市役所の幹部へ提案された20の「志」は、未来の府中市の姿を真剣に思い描き、府中愛に溢れたものばかりでした。

20人の生徒は、1人の市民として、社会の一員として、府中市の未来を考えることの必要性を発信し続けてくれることでしょう。

第一中学校
武田桔京さん



提案内容

備後国府を見える化するため、現実世界に視覚情報を重ねて表示させるAR技術を用いて、備後国府跡にかつての社殿を重ねて見ることができるようにし、観光やアクティビティに活用する。それを市外県外からも人を呼び込む布石にする。

第一中学校
富貞美羽さん



提案内容

ボランティア活動で地域の人と交流し、助け合える住み良い町を作りたい。まずはじめに、身近にある公園を、ボランティアで清掃活動を行い、その活動を通して地域の人と交流したい。また、新しい公園を作るときは、府中らしいものにしてほしい。

第一中学校
木村 凌さん



提案内容

備後国府の山陽道跡にある「はじまりの広場」や「であいの広場」を、ただの広場で終わらせるのではなく、産業・学校・官公庁で連携して、歴史を生かした目に見える何かを設けるべき。

第一中学校
高垣晴人さん



提案内容

現在、盛り上がっているゲームジャンルである対戦型シューティングゲームの大会を開催し、府中市に来てもらい、知ってもらい、住んでもらうように仕掛ける。

講師 株式会社AileLinX 代表取締役社長 北川慶祐さん

2日目



2日目は、株式会社AileLinXで、ドローンの飛行を見学してもらい、北川さんの話を伺いました。

講師 株式会社タテイシ広美社 取締役品質保証部長 立石理恵さん、
コタニコーヒー&デザイン ディレクター 小谷直正さん

1日目

スケジュール



まず1日目は、立石さんと小谷さんの話を伺い、府中市の良さを再認識しました。